



家庭学習の手引き



多賀町立多賀中学校

◆ はじめに

生徒が将来の自立に向けて羽ばたくためには、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」をしっかりと育む必要があります。「生きる力」を育むためには、学校・家庭・地域の連携も大切になりますが、学校では、生徒が「主体的に学習に取り組む」「基礎・基本の定着で学力が確かに身に付く」「課題解決のための思考力・判断力・表現力が身に付く」こと等を目標にして「分かる授業」を行うべく、教職員は研修を積み実践を積み重ねております。このように、生徒諸君が「確かな学力」をより身につけるためには、分かりやすい授業を行うだけでなく、家庭での生活習慣や学習習慣などの形成が重要です。よい生活習慣や学習習慣は、「学習意欲」や「根気よく課題に取り組む態度」を支える基盤にもなります。

家庭ではその基本的な資質や能力を培っていくことが大切で、たとえば、テレビやゲームの時間や携帯電話の家でのルール決め、家での手伝い、早寝・早起きの習慣化、家でのあいさつ、そして家庭学習の定着化などです。とりわけ、家庭生活の中で、宿題や予習・復習という形で学習を補うと、学習内容が確実に定着します。

今回作成した「家庭学習の手引き」は、各御家庭が生徒諸君の努力を励まし、支援するためのヒント集です。学習内容そのものではなく、学習のしかたについて、御家庭の視点で生徒を支えていただくためのものです。

家庭学習の充実のためにも、この「家庭学習の手引き」を常に手元に置き、御活用をお願いします。

◆ ～毎日の継続が学力を向上させる～

家庭学習

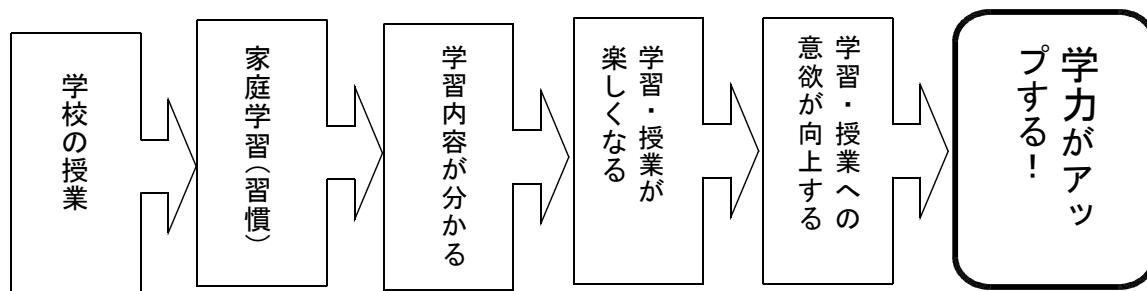


分かる・楽しい



学力の向上

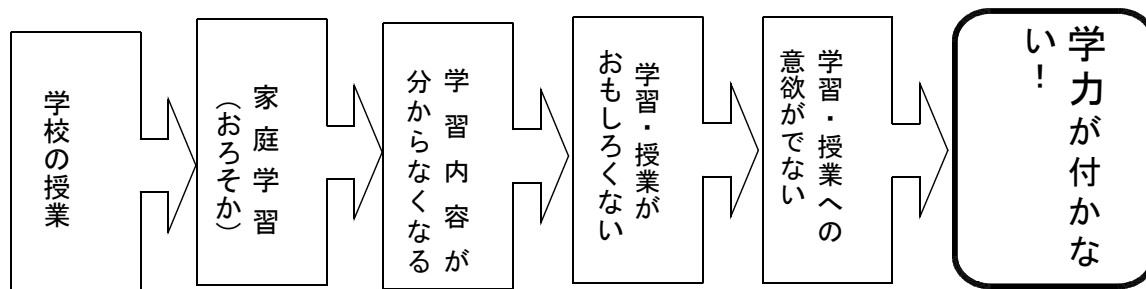
【家庭学習が習慣づくと】



- 小学校、中学校ともに、「出された宿題をきちんとやる」「予習や復習をする」と学力は身に付きます。
- 中学校では、「家の人に言われなくても勉強する」ように、自主的に学習する習慣が身に付いている生徒の方が、学力が高くなります。

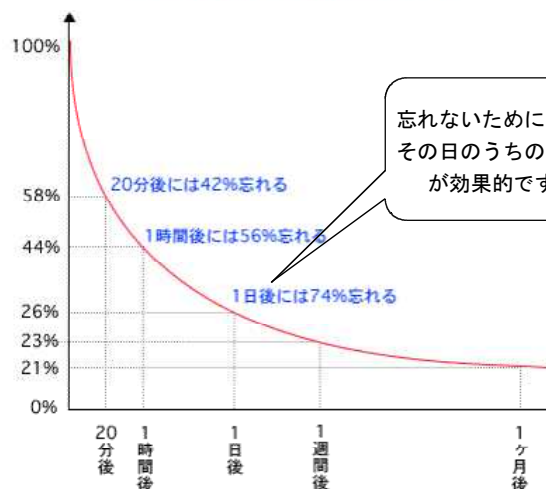


【家庭学習がおろそかになると】



○復習をしないと、学校の授業で身につけた学習内容を忘れてしまいます。ドイツの心理学者であるヘルマン・エビングハウスの研究に「記憶の忘却曲線」があります。人間は、記憶した内容を時間とともに忘れてしまうのです。

エビングハウスの忘却曲線



【ポイント】 家庭学習の必要性

- 学力の向上には、授業に真剣に取り組む。
- 家庭で復習することで、知識が定着する。
- 学校で学ぶ前に予習することで授業での理解を深める。
- 中学校では、家庭学習が欠かせません。

◆ 家庭学習の手順

1 先ず、宿題をしよう

デイリーライフをよく見て、忘れていないものがないか確認する。

2 次に、復習をしよう

その日に学校で学習したことを中心に、ノートにまとめたりワーク類をしたりする。

3 最後に、予習をしよう

教科書に目を通し、次の日に学習する内容を事前に知っておく。

4 寝る前に、明日の準備に忘れ物がないかチェックしよう

デイリーライフで翌日の時間割を確認し、忘れ物がないように用意する。

【ポイント】 毎日の勉強の仕方

- 宿題 → 復習 → 予習 → 準備
- 各教科の学習の仕方を熟読し、自分にあった勉強法を見つけたり工夫したりしましょう。

◆ 読書の効果

1 読書は、心の栄養です。

2 読書は、人間を豊かにします。

3 読書は、集中力をつけます。

4 読書は、学習の力をつけます。



- 自分の好きな本から読みましょう。その後、いろんなジャンルの本に挑戦してみましょう。
- 読み終わったら、心に残った言葉や感想を記録しておきましょう。
- 「朝の読書」の時間は有効に活用しましょう。
- 感動した本・自分が他の人に推薦できそうな本は、家の人や友だちに紹介しましょう。

◆ 家庭学習の時間

- 自分の「学年＋1時間」以上が目安です。
1年生は2時間。2年生は3時間。3年生は4時間となります。
(宿題、復習、予習をしようと思ったら、このぐらいの時間は必要になります)

◆ 家庭での学習習慣を身につけるためのチェック表

	チェック項目	チェック欄		
		/	/	/
子どものチェック欄	① 宿題がなくても毎日自主的に学習している。			
	② テレビや音楽などを消して学習している。			
	③ 言われる前に自分から進んで学習を始めている。			
	④ 机やテーブルなど学習する場を整頓してから学習に取りかかっている。			
	⑤ ていねいな字で書いている。			
	⑥ 分からないことをそのままにせず、自分で調べたり質問したりしている。			
	⑦ 集中して学習に取り組んでいる。			
	⑧ 答え合わせや間違い直しなどの学習の振り返りを行っている。(復習)			
	⑨ 学校で学習する箇所はチェックし、漢字や単語は辞書で調べておく。(予習)			
	⑩ 毎日、同じ時間帯に学習している。			
	⑪ 自分の「学年＋1時間」以上は学習している。			
	⑫ 自主的に計画を立てて学習している。			
	⑬ 自分にゆとりのある日には読書をしている。			
	⑭ 8時間は睡眠をとっている。			
	⑮ 毎日欠かさず朝食を食べている。			
保護者のチェック欄	⑯ 子どもが学習しやすい環境を整えようとしている。			
	⑰ 子どもがテレビ・ゲーム・携帯の時間を守っているか、意識している。			
	⑱ 子どもの学習の様子を定期的に見たり、話題にしたりしている。			
	⑲ 子どもをほめるように心がけている。			
	⑳ 学校のことを話題にした会話をするように心がけている。			
※ 今日の家庭学習の合計時間を記入しましょう。(単位：分)				

<記入例> (はい：○　もう少し：△　いいえ：×)

※ 1～2ヶ月に1回程度チェックしてみよう。自分の課題としてでてきたことは次に生かしましょう。

◆ 各教科別の学習

【ポイント】 5教科の家庭学習の仕方

5教科の家庭学習のポイントは3つ（宿題・復習・予習）です。
毎日の家庭学習の積み上げがあって、そして学力は身に付きます。



◇ 学習の意義

私たちの生活の中では、書く、読む、聞くといった言葉を使った活動はなくてはならないものです。自分の思いが自由自在に豊かに表現でき、相手とのコミュニケーションがうまく図れれば、きっと楽しくなります。そのために、進んで正しい言葉を使う力を磨いていきましょう。そして、確かな学力の基礎・基本を身につけていきましょう。

◇ 学習のしかた

- 毎日の学習
 - ① 復習……授業内容のノートやプリントをじっくり見直しておきましょう。授業範囲の「国語のワーク」「漢字ノート」を自主的にやっておきましょう。
 - ② 予習……教科書に目を通しておきましょう。音読が効果的です。分からない語句はチェックし、国語辞典や漢和辞典を使って調べておきましょう。

◇ 家庭学習のしかた

- 漢字は、毎日繰り返ししっかり書いて覚えましょう。
- 教科書は音読しましょう。特に、古典の文章は暗記するぐらい何回も読みましょう。
- 分からない語句は、辞書で調べましょう。
- 習った漢字を使って文章を書く習慣をつけましょう。
- 世の中のことに興味を持ち、進んで新聞を読んだり、ニュースを聞いたりしましょう。そして、家族や友だちと感想を話し合う機会を持ち、さらに考えを深めましょう。
- 読書で心を豊かにしましょう。気に入った表現やフレーズを見つけてみるのも良いことです。

□ 家庭での保護者の方から

- ☆ ノートはひらがなだけでなく、漢字も使って丁寧に書けているか、誤字や脱字がないか時々見てあげてください。
- ☆ 「問題を解くとき、長めの解答でも面倒がらずに解いているか。」をワークなどをご覧になって、一声かけてください。
- ☆ プリントがすべてファイルに綴られているか、確認をお願いします。（テスト前の確認は有効です）
- ☆ ワークは一度自分でやってから、赤ペンで答え合わせができているか、分からないところを空白のままにしていないか見てあげてください。



◇ 学習の意義

彦根市の大型量販店や京都まで行けば、いろいろな国の方と出会います。テレビをつけると、世界中の国の様子が映し出されています。今の社会は、国際化・情報化が進み、見知らぬ人とも交流する機会が増えてきています。そのために、お互いの国の歴史や文化を理解する必要があります。また、今の社会がどのようにして作られてきたのか、なぜそうなったのかを考えることも大切です。そして、社会人として生活をするためには政治や経済のしくみを学ぶことも必要です。社会は、急速な情報化や様々な環境問題、少子高齢化など急速に変化しています。世界や日本の未来を考えながら、これからの社会を担っていく力を養っていきましょう。

◇ 学習のしかた

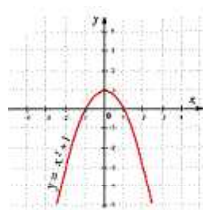
- ① 準備物の忘れ物がないようにしっかりと用意しましょう。
 - 1・2年
地理教科書・地図帳・ノート・資料集・ファイル
歴史教科書・資料集・ノート・ファイル
 - 3年
歴史教科書・資料集・ノート・ファイル
公民教科書・資料集・ノート・ファイル
- ② 時間が来れば、学習はスタートです。教科書や資料集を開けて読んでおきましょう。
- ③ ノートを必ずとりましょう。また、疑問に思ったことや参考になったと思ったことは、ノートにメモしておくようにしましょう。
- ④ 一生懸命に学習に取り組む姿勢が大切です。先生や友だちの話を真剣に聞き、分からないことは自分から質問したり、何でも進んで考えたりしておきましょう。そして、考えたことを発表しましょう。

◇ 家庭学習のしかた

- ① 学習したところは、ノートを読んだり教科書で再度チェックをしましょう。
- ② 基本用語は、繰り返し学習し、覚えきるまで何度も自主勉強ノートを使って勉強しましょう。
- ③ 明日の授業には、教科書が基本ですから一度目を通してから授業に臨みましょう。
- ④ 地図帳で、教科書に出てくる地名や位置を必ず確認しておきましょう。
- ⑤ 教科書に出てくる写真や表・グラフ・絵・資料にも目を通し、特色をつかみましょう。

□ 家庭での保護者の方から

- ☆ 授業のノートがきちんと書けているか、課題のプリントができているか時々見てあげてください。
- ☆ 学習した範囲のワークやプリントができているか、答え合わせをして間違い直しができているかを聞いてやってください。
- ☆ テレビや新聞のニュースから、身近で分かり易い出来事（政治や経済や地理的なこと）を、御家族だんらん場で話あってみてください。



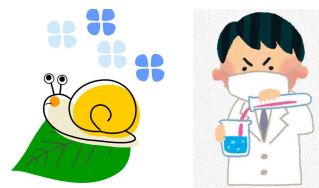
◇ 家庭学習のしかた

- 明日学習する範囲の予習をして、分かるところ・分からないところをはっきりさせてから授業に臨むようにしましょう。
- 学校で学習した内容は、その日のうちに家で復習しておきましょう。
 - ① 学習した問題を、授業用ノートとは別の自主勉強ノート等を書いて、もう一度解けるかどうかやってみましょう。
 - ② 解けなかった問題は、教科書の例題の解き方・解説や授業用ノートを参考にして解き直す。
 - ③ 何も見ずに自力で解けるようになるまで、②を繰り返しましょう。
- 問題集などで、難易度の高い問題にも、じっくり時間をかけて取り組んでおきましょう。
- 土日には、その週に学習した内容の総復習をしておきましょう。

- **【計算の学習】**
 - ・ 問題（はじめの式）から途中の計算式も書いて答えを求めるようにしましょう。間違えた時には原因を途中の式から探ることができますし、分からなくなったときの参考になります。
- **【関数の学習】**
 - ・ 学習している関数の特徴をしっかりと理解しておきましょう。そうすると、式、表、グラフに表すことが容易になります。
- **【図形の学習】**
 - ・ 学習している図形の知識をしっかりと理解しておきましょう。そうすると、計算や証明が容易に進められるようになります。
 - ・ 特に証明は、[仮定]と[結論]をしっかりと把握し、すじ道を立ててから証明を書くようにしましょう。なぜそう言えるのか理由を大切にしておきましょう。

□ 家庭での保護者の方へ

- ☆ 自主勉強ノートや問題集は、答えだけでなく、計算の途中の式がしっかりと書けているか、見てあげてください。
- ☆ 問題集の間違い直しができているかどうか、見てあげてください。
- ☆ 問題集の解答から、答えを写すだけで満足していないか確認をしてやってください。途中の計算や考えも写し、なぜそうなるのかじっくり考えさせてやってください。
- ☆ テストの間違い直しができているかを、テスト後に見てやってください。



◇ 学習の意義

私たちの生活は自然界の中で成り立っています。その自然界を理解するためには理科の学習をすることが大切です。身近な問題に気づいたり、解決方法をみいだしたりすることに役立ちます。現在、地球上での環境や生態などバランスが崩れつつありますが、理科を学習することによって、私たち自身の生活を安全で豊かなものにすることができます。人間も生き物ですから、自然の中で豊かに生きていくのが一番良いことなのです。

◇ 授業への取り組み方

- ・教科書、ノート、資料集を忘れずに持ってくる。
- ・先生の板書をノートに写す。また、先生の話をしつかりと聞き、質問されたら積極的に理由もつけて答える。
- ・観察実験の時は、必要な準備物を調達する。観察実験中も自ら参加し観察実験を行う。

◇ 家庭学習への取り組み方

- 日頃の学習方法
 - 【復習】としては、習ったところのノートを読んでおく。また、習ったところのワークや教科書に掲載している問題をコツコツと解いていく。
 - 【予習】としては、次の学習時間に習う範囲の本読みや新しく出てくる語句について調べておく。また、資料集で観察実験の部分を見ておく。
- テスト前の学習方法（定期考査に対する取り組み）

教科書では、本読み、太文字の語句の確認、観察実験の図や写真、データなどに目を通しておく。ノートでは、先生の板書を確認し、力を込めて説明した部分や授業中の話を思い起こす。ワークや授業中配布されたプリントは、できるまで何度となく繰り返してやる。資料集は、観察実験部分の写真や図、データを教科書のものと対比しながら検討しておく。
- 実力テストに対する取り組み

定期考査と同様ですが、範囲が広がるので時間的に余裕を持って計画的に実施する必要があります。

◇ 日頃の生活の中で

- ① テレビで放映されている『科学』の入った番組を視聴する。
- ② 自宅の周りや家族での旅行先の自然などを通して、生物や自然環境に興味・関心を抱く。
- ③ 図鑑や百科事典を見る。
- ④ 科学的な施設に足を運ぶ。
あけぼのパーク多賀、県立琵琶湖博物館 等
- ⑤ 科学イベント
県内の至る所で、科学関係のイベント・教室が開催されています。保護者に協力してもらって参加体験すれば、得られるものは多いはずです。
- ⑥ 夏休み自由研究に応募すれば力が発揮できます。

□ 家庭での保護者の方から

- ☆ 授業のノートがしっかりと書けているかどうかを時々見てあげてください。
- ☆ 学習した範囲のワーク類の問題ができているかどうかの確認をお願いします。
- ☆ 宿題があるかどうか、また、できているかどうか聞いてあげてください。
- ☆ テレビなどで、科学的なドキュメンタリー番組があれば、視聴を進めてください。
- ☆ 科学者の伝記、科学史の本や科学雑誌は、科学への興味・関心を高めるのに有効です。



◇ 家庭学習への取り組み方

【復習】

- ① 本文の英語を音読する。……その日に習った文章がすらすら読めるでしょうか。
 - アクセント、リズム、イントネーションなどに気を付け、はっきりと発音する。
 - 場面や情景、会話などに即した言い方を考える。
 - 10回以上読み、暗唱へと高めていく。
- ② 基本文を暗記する。……完全に言ったり書いたりできるでしょうか。
 - なめらかに言えるまで練習する。
- ③ 練習用ノート（自習勉ノート）に、何度も覚えるまで書く。
- ④ 発音や単語のつづりを覚える。
- ⑤ 応用力をつける。
 - 教科書の練習問題やワークブックの問題をする。
 - 日記をつけたり、自分の力で作文をしたりして、先生に見てもらう。
 - テレビやラジオの英語学習の番組も積極的に視聴しましょう。
- ⑥ 疑問点を書き出す。
 - 参考書や辞書で調べる。
 - わからない所やあいまいな点は、次の時間に質問する。
- ⑦ 宿題は確実にする。
- ⑧ 家庭学習の基本は、
 - 繰り返し読むこと。
 - 繰り返し書くこと。

【予習】

- ① 新しく学習するページの本文をノートに写し、内容を読む。……何について書いているのだろうか。
- ② 新出単語や語句をノートに書き、意味を調べる。……どんな意味なのだろうか。

◇ ノートの使い方

① 授業用ノート (記入例)

Friday June 25 Unit 4 (タイトル)			
新しい単語	日本語	英 文	日本文
		教科書の本文を書く。	和訳を書く。
○基本文 ○板書事項を書く。		○単語練習・自主学習	

- ※ 1 1冊のノートを使い終わっても大切に保存し、復習のために利用しましょう。
2 ノートは丁寧に書き、工夫して記録しましょう。

② 自習勉ノート

- 習った単語や文を何度も書き、覚えるまで練習しよう。
- 1日1ページ以上を目標にしよう。

□ 家庭での保護者の方から

- ☆ 英文の書き方にしがたって、丁寧にノートが書けているかどうか、見てあげてください。
- ☆ ワークシートやプリントにやり残しがないか、それらが全てファイルに閉じられているかの確認をお願いします。
- ☆ ワークは、答えを写しではなく、一度自分でやってから赤ペンで1問ずつ丁寧に答え合わせができているかを見てあげてください。

【ポイント】 4教科の家庭学習の仕方

- 定期考査がある教科は、試験対策として、ノート作りやワーク整理をていねいに行いましょう。
- 作品やレポートなど提出物は期限を守ってしっかりと提出しましょう。
- 技能教科は、日常の家庭生活に関わることが多いです。

□ 音楽

◇ 家庭での取り組み方

- さまざまなジャンルの音楽を聴き、音楽会やコンサートに出かけて、生の演奏に触れる。
- 日本だけでなく世界中のさまざまな音楽作品や音楽家に興味を持ち、その魅力を味わう。
- 合唱コンクールに向けて、パート用のCDを使って、唄の練習をする。



□ 家庭での保護者の方から

- ☆ 忘れ物がないよう、授業の準備がしっかりと出来ているか、時々確認をしてあげてください。
- ☆ 提出物が出せているか、聞いてあげてください。
- ☆ 楽譜やプリントの整理ができていないか、声かけをお願いします。

□ 美術

- スケッチや工作などの物作りに気軽に取り組む。
- 美術館や展覧会に出かけ良い作品を鑑賞する。
- 日本や世界のさまざまな美術作品や画家や工芸家などに興味を持ち、その魅力を味わう。



□ 家庭での保護者の方から

- ☆ 忘れ物がないよう、授業の準備がしっかりと出来ているか確認をしていただき、材料集めなどに御協力をお願いします。
- ☆ 時々、どのような作品を制作しているか聞いてみてください。
- ☆ 作品を持って帰ったら、自宅に飾って、がんばりをほめてあげてください。
- ☆ 美術館や博物館など、本物にふれる機会を作ってください。

□ 保健体育

- 栄養・運動・睡眠を十分とる。これらのバランスが能力アップのポイントである。
- 朝食は必ず食べ、好き嫌いをしない。

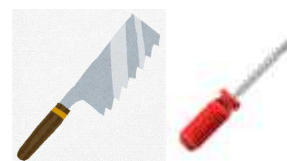


□ 家庭での保護者の方から

- ☆ 忘れ物がないよう、授業の準備がしっかりと出来ているかの確認をお願いします。
- ☆ 現在、授業ではどんなことを学習しているか、聞いてあげてください。
- ☆ テスト前には、テスト範囲を確認していただき、ワークが確実にできているかのチェックをお願いします。

□ 技術

- 生活を豊かにするために、授業で学んだものづくりの知識や技能を活用する。
- エネルギー資源についてや、物の動く仕組みに関心を持つ。
- 学んだことを生かし、生物育成に関心を持つ。
- 情報モラルを意識してコンピュータを利用し、学んだことを活用する。

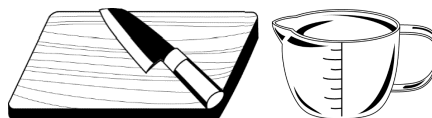


□ 家庭での保護者の方から

- ☆ 忘れ物がないよう、授業の準備物がしっかりと出来ているかの確認をお願いします。
- ☆ テスト前には、テスト範囲を確認していただき、ワークが確実にできているか、また、見直しができているかのチェックをお願いします。
- ☆ ものづくりに興味・関心が日頃より持てるように、いろいろな体験をさせてください。

□ 家庭

- 栄養にバランスを考えて、自ら調理をする。
- 洗濯を手伝ったり、衣類の補修をしたりする。
- 快適で安全な住み方を工夫する。また、掃除をする。
- いろいろな販売方法や支払い方法に関心を持ち、消費者として望ましい金銭感覚を身につける。
- 自分が育ってきた環境を知り、御世話になっている人に感謝する。



□ 家庭での保護者の方から

- ☆ 忘れ物がないよう、授業の準備物がしっかりと出来ているかの確認をお願いします。
- ☆ 提出物が着実に出せているか聞いてあげてください。
- ☆ 現在、授業ではどんなことを学習しているのか、聞いてあげてください。
- ☆ 家庭の仕事を一緒にする機会を増やしてあげてください。